

様式3

平成18年度 傾斜的研究費(特定)(全学分)(戦略分・公募分) 研究報告書

研究テーマ区分 [①都市形成に関わる研究] ②特徴ある教育プログラム開発をめざす研究]

研究課題名	都市集積における中小製造業の構造と発展に関する調査・研究		
研究者または研究代表者名	所属部局名		職位
森本 博行	社会科学研究科経営学専攻		教授
研究実績の概要 (600～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)			
<p>本研究では、東京の産業集積における中小製造業の構造変化に検討するとともに、東京という都市のもたらす規模の蓄積や情報の集積を「都市集積」と定義して、都市集積における中小製造業の動向について、さらに新たな産業の萌芽と発展の可能性について検討した。</p> <p>東京都の産業集積は、城南地区に代表されるように京浜工業地帯の大規模な製造業に対応した委託金属加工業を主体として戦後発展してきた。しかし、専従者の高齢化や90年代の製造業のアジアや多摩地域への再配置を契機として、城南地区の委託金属加工業は衰退の一途をたどってしまった。</p> <p>それに代わって、東京の製造業(一部はサービス業)として顕著に台頭してきた企業が、ソフトウェア製作IT企業である。東京におけるネット企業調査(富士通総研調査)では、東京23区には1300のソフトウェア製作IT企業が立地しており、そのうち4分の1が港区と渋谷区一帯に立地している。東京には印刷業やマスコミ企業、日本を代表するグローバル企業が集中して立地している。集積は規模の大きく、情報も豊富であり専門家同士のコミュニケーションや、何かを生みだそうとするコミュニケーションに最適な立地だと言える。</p> <p>「ソフト系IT産業の実態調査」(国土交通省国土計画局大都市圏計画課)でも、秋葉原地域や池袋から渋谷にいたる地域を中心とする東京都心部におけるソフト系IT産業の事業所数の顕著な増加を示している。</p> <p>それは日本が世界に誇るゲーム機器産業との関連性もあるが、東京の都市としての利便性や事業機会の多様性に起因すると考えられる。東京は都市として、情報・文化の集積地であること(刺激の形成)、クリエイター間の交流(コミュニティの存在)、クリエイターの事業機会が多様で頻度がある(収入の安定)、関連事業である広告制作会社やマスコミが集積していることが要因として確認できた。都市集積の構造の特徴が見出せた。</p>			
研究発表 [雑誌論文発表、図書、学会発表等]			
著者(講演者)	論文題目(発表題目)	発表誌(発表大会名)	年月
森本 博行	「都市集積の構造とその可能性 —東京の産業集積を考える」	産学公連携セミナー	2006年11月